

凡例

-  : 都市計画対象道路事業実施区域
-  : 都市計画対象道路
-  : 土壌調査地点
-  : 形質変更時要届出区域 (188㎡)

*1 アイランドシティ土壌調査専門委員会資料より作成
 *2 要措置区域等台帳より作成

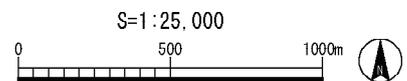
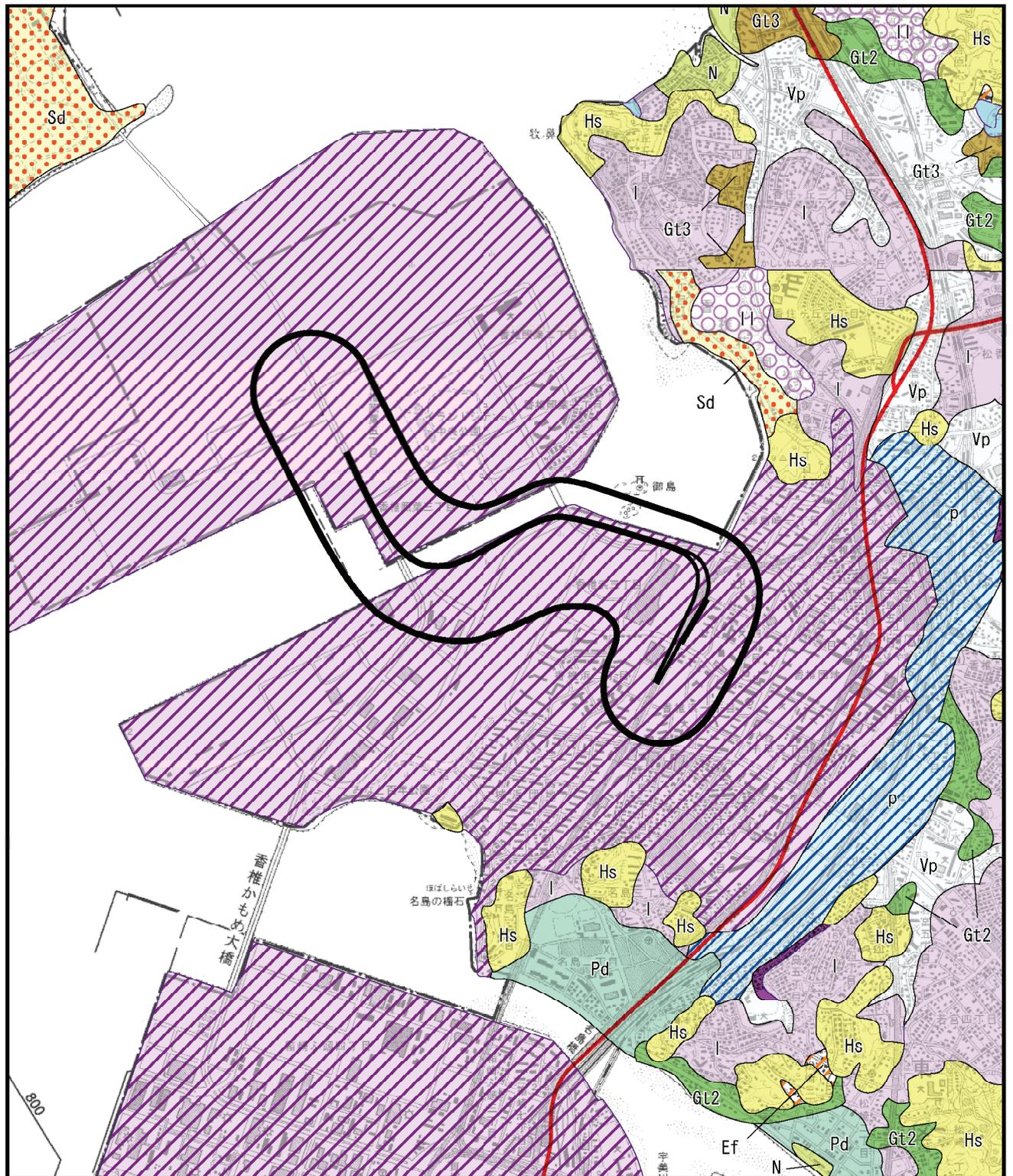


図4-1-23 土壌調査地点及び形質変更時要届出区域

4.1.4 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

調査対象地域における地形分類は図 4-1-24 に示すとおりである。都市計画対象道路事業実施区域はほとんど埋立地であり平坦な地形となっている。



凡例

- | | | | | | | | |
|-----|-----|------------------|----|----|---------|----------------|---|
| 丘陵地 | Hs | 丘陵地 2(起伏量100m以下) | 低地 | Ef | 土石流堆積面 | 崖面 | 〰 |
| 台地 | Gt2 | 砂礫台地 2(低位段丘) | | Vp | 谷底平野 | 国道 | — |
| | Gt3 | 砂礫台地 3(低位段丘) | | p | 平野(扇状地) | 主要地方道 | — |
| その他 | | 池、河川 | | Pd | 平野(三角洲) | 都市計画対象道路事業実施区域 | 〇 |
| | I | 人工改变地(宅地、碎石) | | N | 自然堤防 | 都市計画対象道路 | — |
| | II | 人工改变地(ゴルフ場、緑地) | | Sd | 海浜砂丘、砂浜 | S=1:25,000 | |
| | | 埋立地 | | | | 0 500 1000m | ▲ |

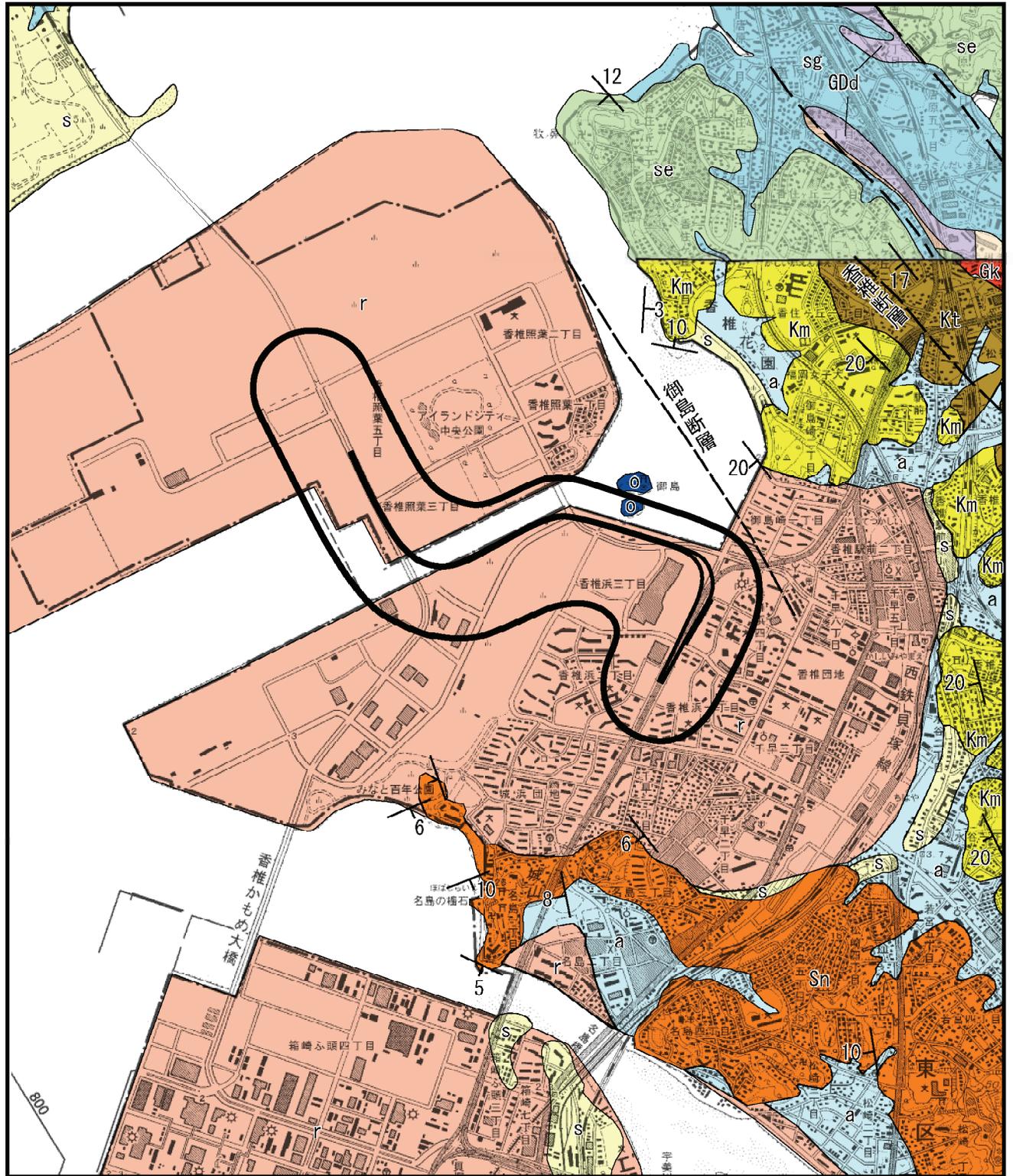
資料：「土地分類基本調査 地形分類図」（昭和59年3月、福岡県）
 「第4回自然環境保全基礎調査(自然環境情報図)」（平成7年、環境庁）

図4-1-24 地形分類図

(2) 地質の状況

調査対象地域における表層地質は図 4-1-25 に示すとおりである。調査対象地域には、砂岩、礫岩、シルト岩、粘土・シルト及び砂が分布している。都市計画対象道路事業実施区域は変成蛇紋岩からなる御島を除きすべて埋立地である。

また、調査対象地域には香椎断層（推定断層）と御島断層（伏在断層）が存在しており、都市計画対象道路事業実施区域近郊に御島断層（伏在断層）が存在している。



<table border="0"> <tr><td>r</td><td>埋立地</td></tr> <tr><td>s</td><td>海浜砂及び風成砂</td></tr> <tr><td>a</td><td>粘土・シルト及び砂</td></tr> <tr><td>sg</td><td>砂・泥・礫(沖積層)</td></tr> <tr><td>Sn</td><td>砂岩及び礫岩 (シルト岩を伴う)</td></tr> <tr><td>Km</td><td>砂岩及び凝灰質シルト岩 (凝灰岩及び石炭を伴う)</td></tr> <tr><td>Kt</td><td>砂岩及び砂岩質互層 (礫岩及び石炭を伴う)</td></tr> <tr><td>se</td><td>砂岩・シルト岩 (含礫岩・凝灰質シルト岩・石炭・ 福岡・相模・早良・志免層群)</td></tr> </table>	r	埋立地	s	海浜砂及び風成砂	a	粘土・シルト及び砂	sg	砂・泥・礫(沖積層)	Sn	砂岩及び礫岩 (シルト岩を伴う)	Km	砂岩及び凝灰質シルト岩 (凝灰岩及び石炭を伴う)	Kt	砂岩及び砂岩質互層 (礫岩及び石炭を伴う)	se	砂岩・シルト岩 (含礫岩・凝灰質シルト岩・石炭・ 福岡・相模・早良・志免層群)	<table border="0"> <tr><td>Gk</td><td>中粒粒斜輝石含有角閃石黒雲母 トーナル岩 (南西縁で雲母構造を示す)</td></tr> <tr><td>GDd</td><td>黒雲母角閃石花崗閃緑岩 ~角閃石石英閃緑岩</td></tr> <tr><td>0</td><td>変成蛇紋岩</td></tr> <tr><td>bs</td><td>黒雲母片岩 及泥質黒色片岩</td></tr> </table>	Gk	中粒粒斜輝石含有角閃石黒雲母 トーナル岩 (南西縁で雲母構造を示す)	GDd	黒雲母角閃石花崗閃緑岩 ~角閃石石英閃緑岩	0	変成蛇紋岩	bs	黒雲母片岩 及泥質黒色片岩	<p>人工</p> <p>改変地</p> <p>完新世 第四紀</p> <p>漸新世 始新世中期後期 古第三紀</p> <p>白堊紀</p> <p>古生代 中生代</p>	<p>凡例</p> <p> : 都市計画対象道路事業実施区域</p> <p> : 都市計画対象道路</p> <p>S=1:25,000</p> <p>0 500 1000m</p> <p>資料: 「土地分類基本調査 表層地質図」(昭和59年3月、福岡県) 「福岡地域の地質(5万分の1地質図幅)」加筆(平成6年3月、地質調査所) 「第4回自然環境保全基礎調査(自然環境情報図)」(平成7年、環境庁)</p>
r	埋立地																										
s	海浜砂及び風成砂																										
a	粘土・シルト及び砂																										
sg	砂・泥・礫(沖積層)																										
Sn	砂岩及び礫岩 (シルト岩を伴う)																										
Km	砂岩及び凝灰質シルト岩 (凝灰岩及び石炭を伴う)																										
Kt	砂岩及び砂岩質互層 (礫岩及び石炭を伴う)																										
se	砂岩・シルト岩 (含礫岩・凝灰質シルト岩・石炭・ 福岡・相模・早良・志免層群)																										
Gk	中粒粒斜輝石含有角閃石黒雲母 トーナル岩 (南西縁で雲母構造を示す)																										
GDd	黒雲母角閃石花崗閃緑岩 ~角閃石石英閃緑岩																										
0	変成蛇紋岩																										
bs	黒雲母片岩 及泥質黒色片岩																										

図4-1-25 表層地質図

(3) 重要な地形及び地質の状況

福岡市東区は、多々良川によって形成された沖積平野が広がっており、多々良川、唐の原川、香椎川の中流・下流域に位置する。

調査対象地域の重要な地形及び地質としては、「名島の^{ほぼしらいし}榿石」、「古第三紀岩石海岸」がある。

「名島の^{ほぼしらいし}榿石」はカシ属の樹木の幹材が珪酸分に置き換えられてできた化石（珪化木）であり、昭和9年に国指定天然記念物に「名島の^{ほぼしらいし}榿石」として指定されている。

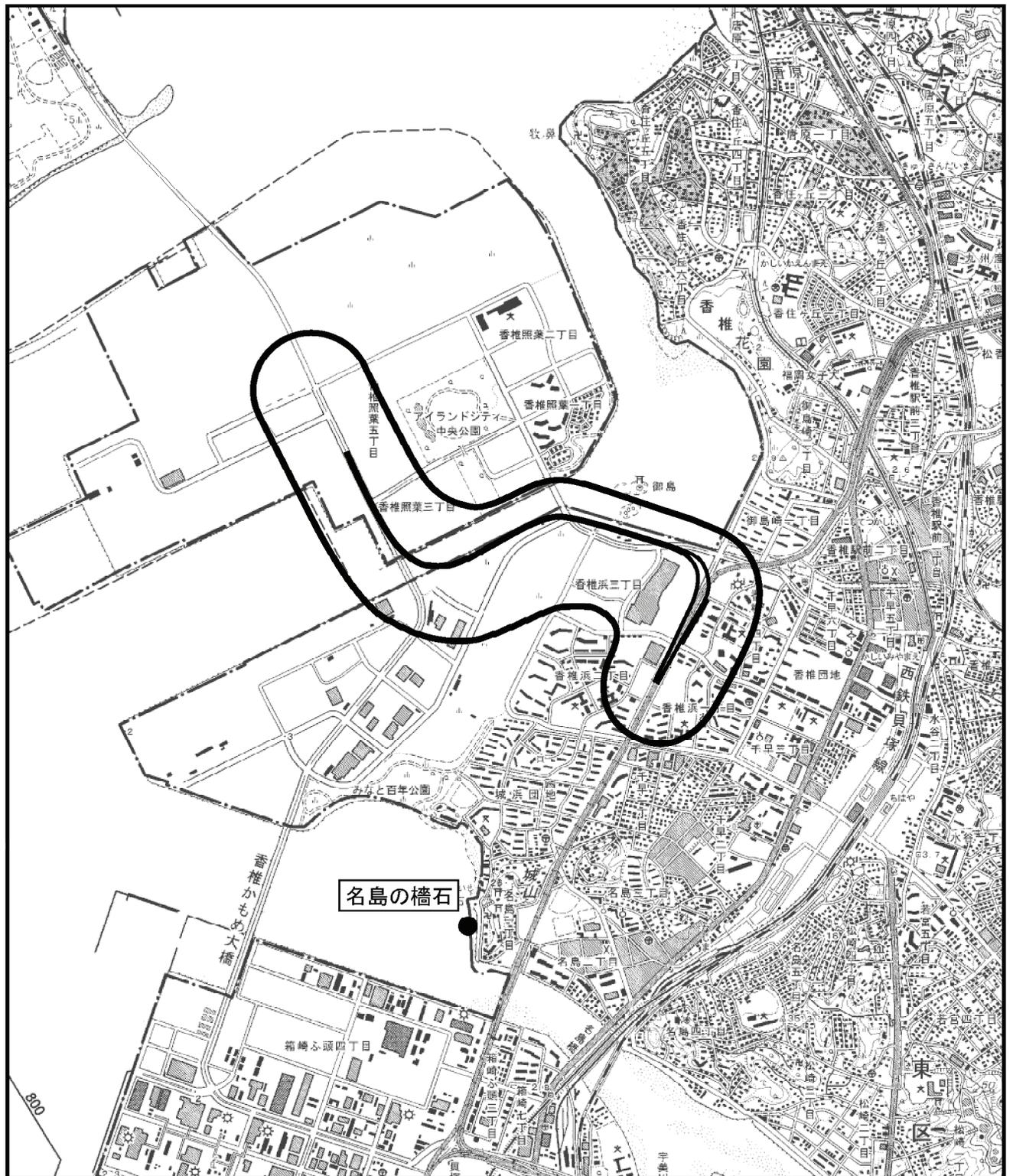
その形状は、直径56～60cm、長さ50～140cmの輪切り状の幹が9個のブロックに分離した状態であり、多々良川の河口、名島神社境内の海岸にある古第三紀漸新世前期（約3500万年前）に形成された、砂岩・礫岩層を主とする志免層群名島層とよばれる地層の走向に平行に横たわっている。干潮時に露出しているが満潮時にはほぼ水没する。また、付近の地層からは、カシ属などの木の葉の化石が産する。別名を帆柱石ともいう。

「古第三紀岩石海岸」は新生代古第三紀に形成された、砂岩・礫岩を主とする露出した岩石からなる海岸地形である。

調査対象地域における重要な地形及び地質の概要及び位置は表4-1-30、図4-1-26に示すとおりである。

表 4-1-30 重要な地形及び地質状況一覧

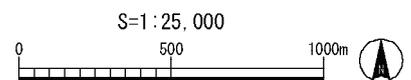
番号	名 称	概 要
①	名島の ^{ほぼしらいし} 榿石	国指定天然記念物。
②	古第三紀岩石海岸	福岡市環境配慮指針掲載。学術的価値の高い地質であり、良好なもの。



凡例

-  : 都市計画対象道路事業実施区域
-  : 都市計画対象道路
-  : 重要な地形及び地質

* 「古第三紀岩石海岸」は名島周辺の海岸地形を指す。



資料：「福岡市の文化財」 <http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/property/detail.php?ID=101562> (福岡市教育委員会 文化財部 文化財整備課)

図4-1-26 重要な地形及び地質の状況

4.1.5 動物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

調査対象地域における動植物の生息又は生育等の状況について、福岡市環境配慮指針、アイランドシティ整備事業環境監視結果等の資料を用いて把握した。

調査対象地域における動植物の重要種の確認状況は表 4-1-31 に、重要種の選定基準は表 4-1-32 (1) 及び (2) に、重要個体及び群落の選定基準は表 4-1-32 (3) に示すとおりである。

表 4-1-31 既存資料による動植物の確認状況一覧

項 目		重要種数
動 物	哺乳類	1 種
	両生類	-
	爬虫類	-
	鳥 類	99 種
	昆虫類	2 種
	魚 類	6 種
	遊泳生物	-
	動物プランクトン	-
	底生動物 砂浜干潟生物	19 種
	潮間帯付着生物	-
植 物	植物	11 種
	植物群落	1 群落
	動物プランクトン	-
	潮間帯付着植物	-

資料：「福岡市環境配慮指針 改訂版」（平成 19 年 2 月、福岡市環境局）
「平成 5 年度～平成 22 年度 アイランドシティ整備事業 環境監視結果」（福岡市港湾局）
「第 7 回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書」（平成 19 年 3 月、環境省）

表 4-1-32 (1) 重要種の選定基準

略号	基準の内容
1. 「文化財保護法」による天然記念物種	
特	特別天然記念物
国	国指定天然記念物
県	県指定天然記念物
市	市指定天然記念物
町	町指定天然記念物
2. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年)に指定されている種	
国内	国内希少野生動植物種
国際	国際希少野生動植物種
特定	特定国内希少野生動植物種
生息	生息地等保護区
緊急	緊急指定種
3. 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—哺乳類(2002年)、鳥類(2002年)、爬虫類・両生類(2000年)、汽水・淡水魚類(2003年)、植物(2000年)」及び環境庁報道発表資料「無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて」(2000年)の記載種	
RB(EX)	絶滅(わが国ではすでに絶滅したと考えられる種)
RB(EW)	野生絶滅(飼育・栽培下のみ存続している種)
RB(CR)	絶滅危惧IA類(絶滅の危機に瀕している種、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。)
RB(EN)	絶滅危惧IB類(絶滅の危機に瀕している種、IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。)
RB(CR+EN)	絶滅危惧I類(絶滅の危機に瀕している種、現在の状態をもたらした圧迫的要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。)
RB(VU)	絶滅危惧II類(絶滅の危険が増大している種)
RB(NT)	準絶滅危惧(存在基盤が脆弱な種)
RB(DD)	情報不足(評価するだけの情報が不足する種)
RB(LP)	絶滅のおそれのある地域個体群
4. 環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)掲載種(環境省報道発表資料:哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物、植物I(維管束植物)及び植物II(蘚苔類、藻類、地衣類、菌類)2012年8月28日、汽水・淡水魚類2013年2月1日)	
RL(EX)	絶滅(我が国ではすでに絶滅したと考えられる種)
RL(EW)	野生絶滅(飼育・栽培下のみ存続している種)
RL(CR+EN)	絶滅危惧I類(絶滅の危機に瀕している種)
RL(CR)	絶滅危惧IA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)
RL(EN)	絶滅危惧IB類(IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)
RL(VU)	絶滅危惧II類(絶滅の危険が増大している種)
RL(NT)	準絶滅危惧(現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種)
RL(DD)	情報不足(評価するだけの情報が不足する種)
RL(LP)	絶滅のおそれのある地域個体群(地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの高いもの)
5. 「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」(2000年、水産庁)の掲載種	
水(危惧)	絶滅危惧(種)(環境庁カテゴリーに準ずる)絶滅の危機に瀕している種・亜種
水(応急)	応急(種)(環境庁カテゴリーに準ずる)絶滅の危険が増大している種・亜種
水(希少)	希少(種)(環境庁カテゴリーに準ずる)存続基盤が脆弱な種・亜種
水(減少)	減少(種)(明らかに減少しているもの。)
水(減傾)	減少傾向(長期的にみて減少しつつあるもの。)
水(普通)	普通(自然変動の範囲にあるもの。)
水(地域)	地域個体群(環境庁カテゴリーに準ずる)保護に留意すべき地域個体
6. 「福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2011—」(2011年、福岡県)の掲載種	
福(絶滅)	絶滅(県内ではすでに絶滅したと考えられる種)
福(危惧)	絶滅危惧IA類+絶滅危惧IB類+絶滅危惧II類
福(危IA)	絶滅危惧IA類(絶滅の危機に瀕している種、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。)
福(危IB)	絶滅危惧IB類(絶滅の危機に瀕している種、IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。)
福(危惧II)	絶滅危惧II類(絶滅の危険が増大している種)
福(準絶)	準絶滅危惧(現時点では絶滅危険度が小さいが、生育・生息条件の変化によっては、絶滅危惧に移行する可能性のある種)
福(不足)	情報不足(評価するだけの情報が不足している種)
福(地域)	絶滅のおそれのある地域個体群
福(保全)	保全対策依存種(現在保全対策が継続実施されているが、その保全策が中止された場合に、絶滅のおそれのある状態に移行する可能性がある種)

表 4-1-32 (2) 重要種の選定基準

略号	基準の内容
7. 「福岡市環境配慮指針 改訂版」(平成19年2月、福岡市)における市内の貴重生物等リスト掲載種(市指定)	掲載種
8. 「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年、環境庁)における指標昆虫	特定昆虫(B) 分布域が国内若干の地域に限定されている種 特定昆虫(C) 普通種であっても、北限・南限など分布限界になると思われる産地に分布する種 特定昆虫(G) 環境指標として適当であると考えられる種
9. 県指定天然記念物	県(天) 天然記念物
10. 「Red List of Threatened Animals」(1996:国際自然保護連合編)掲載種	IUCN(CR) 近絶滅種 IUCN(EN) 絶滅危惧種 IUCN(VU) 危急種 IUCN(NT) 近危急種 IUCN(LR) 低危険種(:cdは保全対策依存、:ntは準絶滅危惧、:lcは軽度懸念)
11. 日本産蝶類県別レッドデータリスト 福岡県分	蝶RDB 絶滅危惧種、危急種、希少種

表 4-1-32 (3) 重要個体及び群落の選定基準

基準の内容		
1. 「文化財保護法」による天然記念物		
特	特別天然記念物	
国	国指定天然記念物	
県	県指定天然記念物	
市	市指定天然記念物	
町	町指定天然記念物	
2. 「第2回自然環境保全基礎調査」(昭和56年、環境庁)、 「第3回自然環境保全基礎調査」(平成元年、環境庁)における特定植物群落(A~G)		
A	原生林もしくはそれに近い自然林	
B	国内の若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群	
C	比較的普通に見られるものであっても南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群	
D	砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの	
E	郷土の景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの	
F	過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期間にわたって伐採等の手が入っていないもの	
G	乱獲その他他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群	
H	その他、学術上重要な植物群落または個体群	
3. 「第4回自然環境保全基礎調査」(平成7年、環境庁)、 「第6回自然環境保全基礎調査」(平成12年、生物多様性情報システムホームページ)における巨樹・巨木林		
4. 「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック2011-」(2011年、福岡県)における重要な植物群落カテゴリー(I~IV)		
カテゴリー	I	緊急に対策必要:緊急に対策を講じなければ群落が壊滅する。
	II	対策必要:対策を講じなければ群落の状態が徐々に悪化する。
	III	破壊の危惧:現在は保護対策が功を奏しているが、将来は破壊の危惧が大きい。
	IV	要注意:当面、新たな対策は必要ない(監視必要)

(1) 動物の生息状況

a. 哺乳類

福岡市環境配慮指針等の資料による哺乳類の確認状況は表4-1-33及び図4-1-27に示すとおりである。

文献調査の結果、ネズミ類やイタチ等の10科19種が確認されている。

このうち重要種はカワネズミ、ヒナコウモリ、ヤマネ、イタチ等の7科11種である。

調査対象地域では、1科1種の重要種が確認されている。カヤネズミは立花山周辺に生息している。

表4-1-33 文献調査における哺乳類確認種一覧表

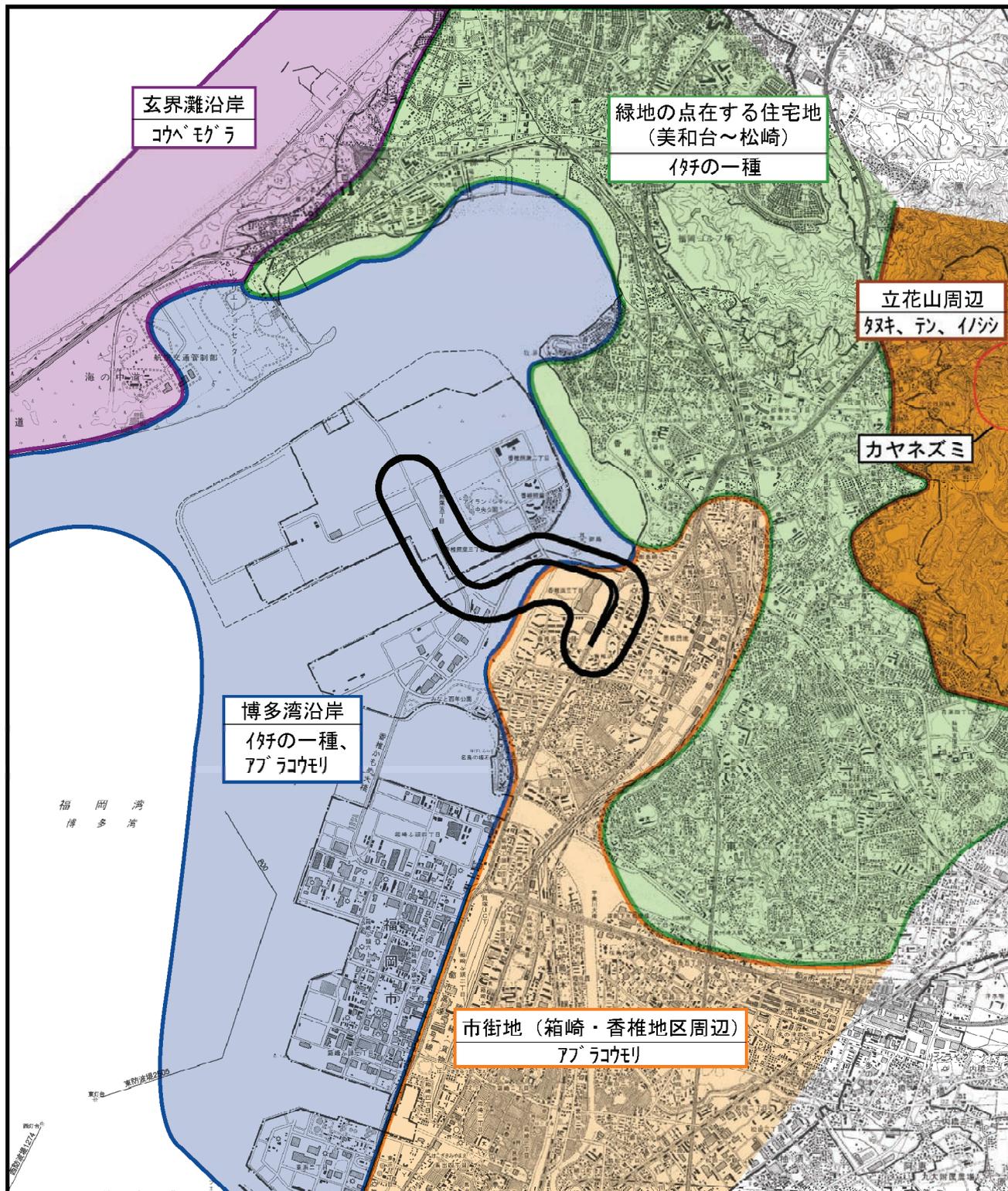
No.	目名	科名	種名	文献						選定基準※
				①	②	③	④	⑤	⑥	
1	モグラ目	トカリスズミ科	カワネズミ				○	○		RL (LP), 福(危惧II), 掲載種
2		モグラ科	コウバモグラ				○		○	
3	コウモリ目	ヒナコウモリ科	アブコウモリ				○		○	
4			ヒナコウモリ				○	○		RB (VU), 福(危惧II), 掲載種
5	サル目	オカザル科	ニホンザル	○			○	○		福(準絶), IUCN (EN), 掲載種
6	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ						○	
7	ネズミ目	ヤマネ科	ヤマネ				○			RB (NT), RL (NT), 福(危I B), IUCN (EN), 掲載種
8		ネズミ科	スミスネズミ					○		福(準絶), 掲載種
9			ハカネズミ		○				○	福(準絶), 掲載種
10			アカネズミ						○	
11			カヤネズミ	○	○		○	○		福(危惧II), IUCN (LR:nt), 掲載種
12			ハツカネズミ						○	
-			ネズミ科の一種						○	
13	ネコ目	イヌ科	タヌキ						○	
14			ギョネ						○	福(準絶)
15		イタチ科	テン						○	
16			チョウセンイタチ						○	
17			イタチ					○		福(準絶), 掲載種
-			イタチの一種				○		○	
18			アナグマ	○		○		○		福(準絶), 掲載種
19	イシ目	イシ科	イシ				○		○	
計	7目	10科	19種	3	2	1	9	8	12	-

文献

- ① 「自然環境調査(背振山地における貴重種動物の生息状況調査)委託」(平成10年3月、福岡市環境局)
- ② 「自然環境調査(ほ乳類・は虫類・両生類の生息状況等調査)委託」(平成13年3月、福岡市環境局)
- ③ 「九州大学統合移転事業環境監視調査 平成16年度 統合報告書」(平成17年10月、福岡市土地開発公社)
- ④ 「福岡市環境配慮指針 改訂版」(平成19年2月、福岡市環境局)
- ⑤ 「福岡県の希少野生生物-福岡県レッドデータブック2011-」(平成23年11月、福岡県)
- ⑥ 「平成19年度 自然環境調査結果(哺乳類、は虫類、両生類)」(平成19年度、福岡市環境局)

※選定基準の略号については表4-1-32(1),(2)を参照。

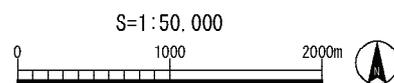
- 注) 1. 調査対象地域で確認された種を網掛けで示している。
 2. 選定基準欄の空欄は重要種に該当しない種である。



凡例

記号	名称
	重要種確認地点
	身近な生き物確認地点

: 都市計画対象道路事業実施区域
 : 都市計画対象道路



資料：「福岡市環境配慮指針 改訂版」（平成19年2月、福岡市環境局）

図4-1-27 分布状況（哺乳類）